

たまなん 多摩南ミニ通信

(財)東京都保健医療公社
多摩南部地域病院
地域医療連絡室第17号
平成11年 2月 1日発行

患者さんと共に歩む医療を目指して

当院は、患者さんと互いに協力しあい、信頼関係で結ばれた医療を心がけています。

♥ インフォームド・コンセント ♥

当院は、患者さんに病気や治療についてわかりやすく説明し、患者さんの納得と同意を得て医療を進める、「インフォームド・コンセント」を大切にしております。



♥ あなたが「いのちの主人公」「からだの責任者」 ♥

患者さんからのご協力がなければ、よりよい医療は提供できません。積極的に治療に参加しましょう。

—新・医者にかかる10箇条—

- ① 伝えたいことはメモにして準備しましょう。
- ② 対話の始まりはあいさつからです。
- ③ よりよい関係づくりにはあなたにも責任が。
- ④ 自覚症状と病歴はあなたの伝える大切な情報です。
- ⑤ これからの見通しを聞きましょう。
- ⑥ その後の変化も伝える努力をしましょう。
- ⑦ 大切なことはメモをとって確認しましょう。
- ⑧ 納得できないことは何度でも質問をしましょう。
- ⑨ 医療にも不確実なことや限界があります。
- ⑩ 治療方法を決めるのはあなたです。

♥ 重大な決断をしなければならない時、誰かに相談してみたいと思ったことはありませんか? ♥

医療の現場は、重大な決断をしなければならない場面にたくさん出会います。そんな時「他の人に相談してみたい」と思うのは、当然なことです。

例えば「診断や治療方針について主治医以外の意見を聞いてみたい」というご希望があれば、ご遠慮なく担当医、あるいは担当看護婦にお申し出ください。希望される医療機関での相談に必要な、診療情報提供書や診療データなどを用意いたします。(実費)

このように「第二の意見」を求めることを「セカンド・オピニオン」といいます。(これは、自分の意にそぐわないことを言われただけで、次々と医師を変えてしまうこととは、まったく別のものです。)患者さんは主治医以外の意見を聞いたうえで、最終的に一つの治療法を決定し、納得して医療を受けられるのです。

「セカンド・オピニオン」に関するご相談は、例えば下記のような団体で受け付けています。

セカンド・オピニオンを推進させる会

申込先 ☎052(760)0868
紹介料 6,000円

その他、一階に医療相談室、看護相談室を設けておりますので、療養中に生じる様々な心配ごとなどをお気軽にご相談ください。

♥ あなたの意見を お聞かせください ♥

患者さんにより快適に診療を受けていただくためには、患者さんの貴重なご意見をうかがうことが大切と考えております。

当院では、「わたしの声」(投書箱)を看護相談室の横を曲がったところに設置しております。また、退院される患者さんへのアンケートを実施して、患者さんにご意見をうかがう機会を設けております。

お寄せいただいたご意見を参考に、よりよい病院づくりに役立てていきたいと思っております。

♣「多摩南ミニ通信」をご希望の方は総合案内にお申し出ください。♣